

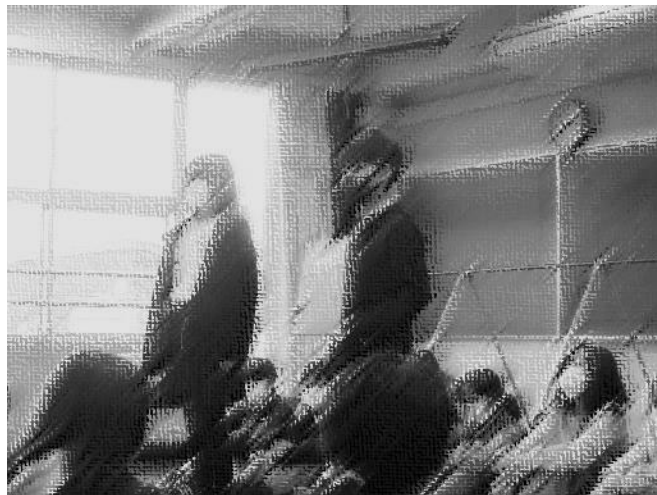
学校だより

緑の里

令和 6年 2月 26日(第12号)
三条市立保内小学校(児童101名)
〒955-0022 三条市上保内乙 500
TEL.0256(38)8313 FAX. (38)1471



1月31日 青空班大縄跳び大会



2月14日 委員会引継ぎ式

小澤征爾さんの「G線上のアリア」

校長 湯谷 俊彦

世界的指揮者の小澤征爾さんが、2月6日に亡くなっていたことが報じられ、クラシック音楽界を中心に世界中から追悼の声が寄せられています。

小澤征爾さんといえば今でも思い出す演奏があります。1995年(平成7年)1月23日に小澤さんが32年ぶりにNHK交響楽団を指揮してチャリティーコンサートを行いました。正規のプログラムの前に、直前に起きた阪神・淡路大震災で亡くなられた方のために、バッハの「G線上のアリア」が演奏されたのです。

受信状態のよくないテレビでの視聴でしたが、こんなに胸を締め付けられる悲しみの音楽を聴いたのは初めてでした。その日から29年経った今でも、その思いは同じです。

21世紀も20年以上が過ぎた現在、世界で活躍している日本人音楽家がたくさんいます。そうした人たちが、小澤征爾さんへのあこがれと小澤さんを目標としてがんばってきたことを語っておられました。彼ら・彼女らがまだ子どもだった頃、世界のひのき舞台上で活躍している小澤さんの姿に、将来の自分の姿を重ね合わせ、夢見ていたことでしょう。

ちょうど1年前の学校だより2月号で、マンガ家・松本零士さんの訃報と宇宙飛行士の山崎直子さんと星出彰彦さんが、松本零士さんの作品を読んで宇宙の壮大さに心躍らせ、将来の夢を育てていたことを紹介しました。

領域こそ違いますが、私たち教員も子どもと日常的に接し、子どもに夢とあこがれをもたせる職業と言えらると思います。2月20日に三条商工会議所青年部の方を招いて行った5・6年生を対象にしたキャリア教育講演会が終わった後、何人かの子どもたちが、「植木ってかっこいいんだな。」「自分たちもやってみたい。」と話していたことを聞きました。

子どもたちが、自分に、未来に、社会に希望をもち、夢に向かって努力していけるように、私たち大人が努力し、立派な背中を見せ、環境整備をしていくことが大切ということ、小澤征爾さんの訃報に接して考えました。



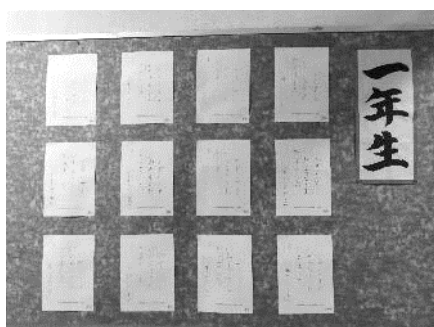
5年生 米粉調理実習



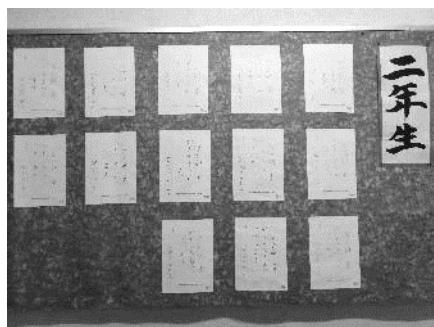
5年生は「総合的な学習の時間」に米をテーマにした学習活動に取り組んできました。その一環として、1月23日(火)にえちご中越農業協同組合の方をお招きして、米粉を使った料理の調理実習を行いました。米粉の力でとろみをついたシチュー、クレープ、おにぎりを作りました。とてもおいしくできました。

2学期に取り組んだ「庭園の郷 保内」での米の販売や、米粉クッキー販売と同じく、米の様々な活用の仕方とおいしい食べ方について学ぶことができました。

校内書初め展



1年生の作品



2年生の作品



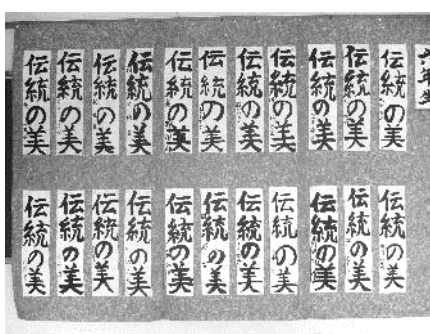
3年生の作品



4年生の作品



5年生の作品



6年生の作品

1月19日(金)から25日(木)まで、子どもたちの書初め作品を校内に展示しました。1・2年生は硬筆、3年生から6年生は毛筆作品です。学習参観の際にご覧になられた方も多いことと思います。書く時の気持ちの落ち着きと集中が、どの作品からも伝わりました。



保内小HPへ

2年生 いのちの授業



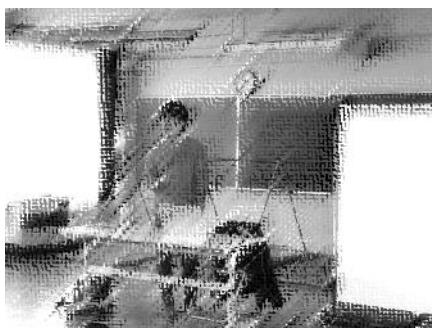
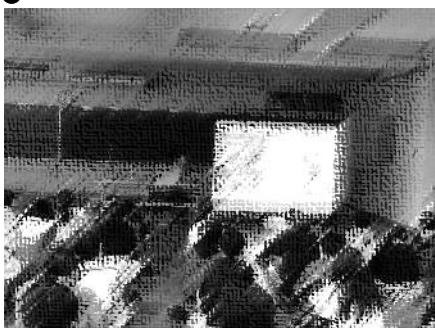
1月25日(木)の学習参観に、2年生が、新潟市を中心に「誕生学」講師として活動されている方をお迎えして、「いのちの授業」を行いました。いのちが誕生するまでの経過を赤ちゃん人形などをもとに学んだり、聴診器で自分の心臓の音を聞いて「いのち」を実感したりして、「いのち」のかけがえのなさを学ぶ貴重な時間となりました。

1・2年 冬鳥越スキーガーデンそり遊び



2月7日(水)に、1・2年生が加茂市の冬鳥越スキーガーデンにそり遊びに行きました。今年は降雪・積雪ともに少なく、実施が危ぶまれるときもありましたが、直前の降雪で持ち直し、実施することができました。当日は大勢のボランティアの方にも協力をいただき、そり遊びを楽しむことができました。ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。

5・6年 キャリア教育 保内の植木と三条の鍛冶



2月20日(火)に、5・6年生が三条商工会議所青年部の方を講師にお迎えして、キャリア教育を行いました。パリやニューヨークなどの海外の都市で行った保内の植木と三条の金物のコラボレーション展示会を通して、三条のよさ、保内のよさを伝えていく取組について学びました。講師のお二人から「目を輝かせて聞き入り、熱心にメモを取りながら聞いていた子どもたちの様子が、とてもたのしかったです」とほめていただきました。



保内小HPへ